



羅針盤

Market Forecasts by Y. san - 3月 -

鉄スクラップ

2月は価格指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格は、51,000円/トンでスタートしました。最終的には2,500円/トンも上昇し月末53,500円/トンでした。3月に関しては、地震によるトルコへの輸出価格上昇から見て上がると思われます。

銅

2月はLME 9,000ドル/トン。国内銅建値1,260,000円/トンでしたが、ドル高により、3日には国内銅建値40,000円/トンも下がりLMEも9,000ドル/トンを割り込みました。中旬以降は国内銅建値も上昇し最終的には昨年6月以来の高値1,290,000円/トン。3月は中国の景気回復期待から上がると思われます。

アルミ

2月のLMEは2,530ドル台/トンでスタートしましたが、最終的には2,300ドル/トンまで下がりました。3月は円安の進行、品不足が見込まれますので、上がると思われます。

産業廃棄物

2月は年度末を控えてか、事務所移転や建物解体が増えて廃棄物の発生は多かったようです。ただ、電気代、輸送費の大幅な値上げにより処分費の値上げは避けられなくなっており、今後は受入れ処分場での作業員のサービスが試されるようになると思います。普段が大切です。

Topics

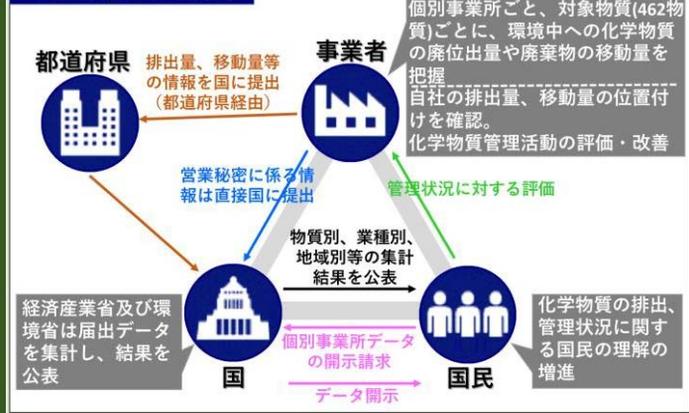
PRTR制度 (化学物質排出移動量届出制度)

1999年(平成11年)7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)」に基づき、「化学物質排出移動量届出制度(PRTR制度)」が導入されました。PRTR制度では、人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、事業所から環境(大気、水、土壌)へ排出される量及び廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し国に届け出をし、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計・公表する制度で、2001年(平成13年)4月から実施されています。

PRTR制度は、大きく分けて3つの部分に分かれています。

- 事業者による化学物質の排出量等の把握と届出**
事業者は、個別事業所ごとに化学物質の環境への排出量・移動量を把握し、都道府県經由で国(事業所管大臣)に届け出ます。
- 国における届出事項の受理・集計・公表**
事業所管大臣は、届け出られた情報について、環境大臣及び経済産業大臣へ通知します。
経済産業省及び環境省は共同で、届け出られた情報を電子ファイル化し、物質ごとに、業種別、地域別等に集計・公表するとともに、事業所管大臣及び都道府県に通知します。
経済産業省及び環境省は共同で、本法の届出義務対象外の排出源(家庭、農地、自動車等)からの排出量を推計して集計し、併せて公表します。
- データの開示と利用**
国(経済産業大臣、環境大臣及び事業所管大臣)は、国民からの請求があった場合は、個別事業所の届出データを開示します。
国はPRTRの集計結果等を踏まえて環境モニタリング調査及び人の健康等への影響に関する調査を実施します。

PRTR制度の仕組み



令和3年度PRTRデータ(届出排出量・移動量)の公表内容については次号での掲載とさせていただきます。

出典及び加工したウェブサイト: 経済産業省ウェブサイト
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/prtr/index.html

編集メモ

3月と聞くと春→桜を連想し、何となく心がまよとしてきます。地球温暖化で猛暑機関が長くなるなど季節感が薄れてきていますがやはり、桜の季節を迎えるころはウキウキします。コロナも先が見えたようで、海外からも観光客が増えてきました。日本の四季は矢張り人をひきつけます。そんな中、今年は花粉飛散予測が全国的に多いとの報道です。スギ花粉は天候、気流が日々変わる中で飛散しますので花粉症の方々はお気を付けください。今号トピックスのPRTR制度のように研究・対策がとれるようになるのははまだ先でしょう。

Series

第1回「私と父と野球」



営業部 高見澤 一輝

初めまして、千葉工場 集荷営業の高見澤です。このたび「羅針盤」連載担当の話を頂き驚いております。4回程度の投稿になると思いますがお付き合いの程、お願い致します。今号は父と野球の紹介です。

私は、父の影響で小学4年生の時に本格的に野球を始めました。小学6年生になると、エースで、4番で、キャプテンになり、横浜の選抜チームにも選ばれていました。中学校では関東大会でMVPに選ばれ高校ではレギュラーにはなれませんでした。寮に入ることが出来、レベルの高い私立で野球ができたのも必死に働いてくれた両親と、厳しい指導をしてくれた父のお蔭だと感謝しています。しかし、今でこそ父のことが好きですが、昔は指導が厳しく大嫌いでした。父から離れたくて高校を寮生活に選択したくらいです。どれくらい厳しかったのか、いくつかご紹介したいと思います。

- キャッチボールの際、構えたところに投げないと捕球してくれない。
→最初は体力が有るのでいいのですが、それが続くや疲れて後半は毎回1人キャッチボールのようになっていました。お蔭でコントロールとスタミナ、強靱な下半身が身につきました。
- 小学生のころ遠征で私が先発投手で負けた試合は私だけグラウンドから走って帰宅。
→同じ横浜市の試合なので、県をまたぐとかでは無いのですが基本、車に乗せてはもらえなかったのです。ちなみに最長は磯子区〜実家のある港北区まで、試合が終わり、その後環状2号の磯子で降るされ、「このままずっと走れば新横浜つくから」と言われ、車内のチームメイトも引いていたのを覚えています。
- 試合にはどんな状況でも出る。
→小学6年生の時にエースとして毎試合投げていたのですが、3回ほど38度以上の高熱の中で投げて完投していました。後から気が付いたのですが3回の内2回はインフルエンザでした。(笑)
中学3年生の頃の思い出では、額に硬球が当たり、その場で気を失い救急車で運ばれました。診断の結果脳に異常はなく入院には至らなかったのですが、陥没骨折をしていたため1週間〜10日は体を動かさないようにとドクターストップがかりました。翌日が関東大会だったので非常に悔しかったことを覚えています。しかし父は「試合いくでしょ!」と言い、母の大反対を押し切り、私は試合に参加しました。その準決勝では全く打っていませんでしたが勝利。次の決勝で私は4打数4安打と爆発し、何とMVPに選ばれたのでした。

その他にも、門限に2分遅れて玄関で2時間ほど正座したり、家から追い出されたり、平手打ちやケツバットなど野球以外にも様々なエピソードがありますが、長くなってしまうので省略します。色々なことがありましたが、今思い返せば良い思い出ばかりです。好きな野球を高校までやれて大学に進学できたこと、両親にはとても感謝しています。今では一緒にゴルフへ行ったり野球をしたり呑みにも行きます。そして、私にも去年の2月に息子が出来ました。父のようなお父さんになれればと思っています。

(孫にはかなり甘くべったりで少々見苦しいことがあります(笑))